

公開セミナー

北朝鮮の食糧事情と国際支援から 〈今〉を考える

3度目の核実験を行った朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）。制裁強化に進む国際社会との溝はますます深まり、出口は見えない。こうした圧力と反発の悪循環を断ち切るためにも、今こそ北朝鮮核問題の解決に向けたさまざまな角度からのアプローチが求められる。本セミナーでは、韓国の専門家とともに、北朝鮮の食糧事情と国際支援の現状を学び、手掛かりを探る。

2013年4月6日(土)
14:00 - 16:00

場 所：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 交流ラウンジ

入場料：無料・逐次通訳付

講 師：ムン キョンヨン 教授 (韓国・高麗大学国際研究大学院)

主催：核兵器廃絶長崎連絡協議会※

共催：核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会

長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA)

※核兵器廃絶長崎連絡協議会は、長崎県、長崎市、長崎大学の三者による核兵器廃絶のための協議会です。



ムン・キョンヨン

延世大学校貧困削減・国際開発研究所 (IPAID) 専門研究員を経て、高麗大学国際研究大学院教授。韓国国際研究協会 (KAIS) 国際開発協力委員会執行委員、韓国国際開発協力協会 (KAIDEC) 総務部副議長、対北朝鮮協力 NGO 協議会政策諮問委員会委員。主な専門は貧困削減、政府開発援助 (ODA)、北朝鮮飢餓問題への支援構築、市民社会の人道開発援助、食糧支援を中心とした国際協力。

問合せ先：

長崎大学核兵器廃絶研究センター
(RECNA)

〒852-8521 長崎市文教町 1-14
TEL: 095-819-2164
FAX: 095-819-2165
recna@ml.nagasaki-u.ac.jp
<http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>